



UVプロテクトクリアーシリーズ

高意匠サイディングボード用セラミック系外壁保護クリアー

UVプロテクトクリアー

高意匠サイディングボード用フッ素系外壁保護クリアー

UVプロテクト4Fクリアー



PURERIDE UV PROTECT CLEAR

UVプロテクトクリアーシリーズなら

デザイン性の高いサイディングボードの
美しさをそのままに、さらに長持ちします。



どちらがいいですか?

塗りつぶしだと

せっかくの外壁デザインが台なしに。

COATING TECHNOLOGY



世界をリードする日本の自動車産業、
そのコーティングテクノロジーを支える日本ペイントだからできる発想。

日本建築仕上材工業会登録

ホルムアルデヒド
放散等級 F☆☆☆☆



Basic & New
日本ペイント

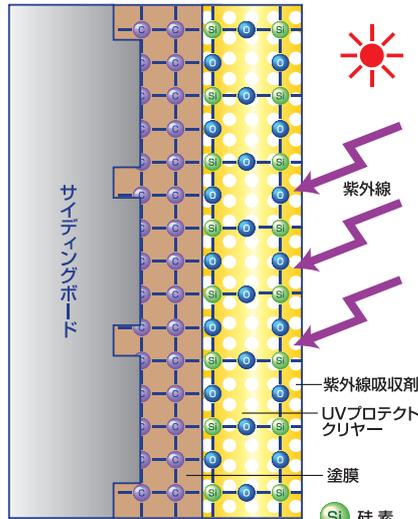
耐久性

外壁の美しさを長持ちさせるUVプロテクトクリヤーシリーズ。

UVプロテクトクリヤーシリーズはセラミック系樹脂タイプとフッ素樹脂タイプ。それぞれ超耐候性を実現します。緻密で強力に結合した分子構造と紫外線吸収剤の働きで、外壁の劣化を長期間おさえます。UVプロテクトクリヤーシリーズなら、サイディングボードを新築時に近い風合いのまま、長期に維持できます。※当製品の一般名称に使用されている「セラミック系」はアクリルシリコン樹脂を意味します。

【UVプロテクトクリヤーシリーズの場合】

UVプロテクトクリヤー

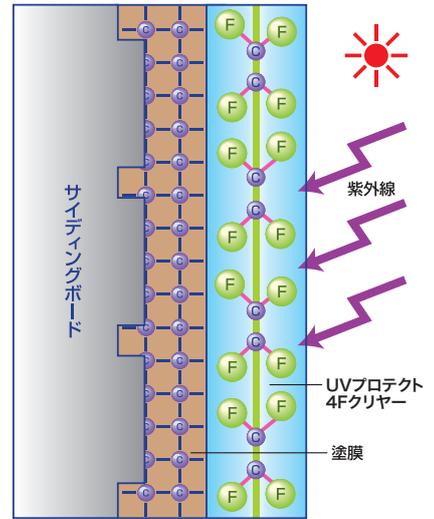


結合が切れにくい+紫外線を吸収

珪素(Si)と酸素(O)の強力な結合のため紫外線での劣化はほとんどありません。紫外線吸収剤の働きで、外壁塗装の色落ち、色あせを防ぎます。

- Si 珪素
- O 酸素
- C 炭素

UVプロテクト4Fクリヤー



フッ素効果※

4フッ化エチレンの強力な結合により耐久性が持続します。※UVプロテクト4Fクリヤーの場合

- C 炭素
- F フッ素 (4フッ化フッ素樹脂)

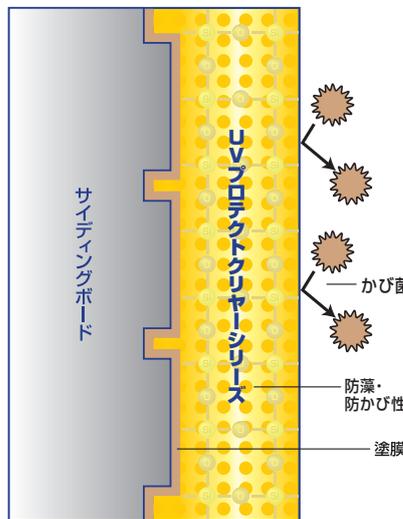
日々、紫外線や風雨にさらされている家の外壁。新築～10年以内に、外壁がきれいな状態でのUV

超低汚染性

汚れやかびに強い外壁に生まれ変わります。

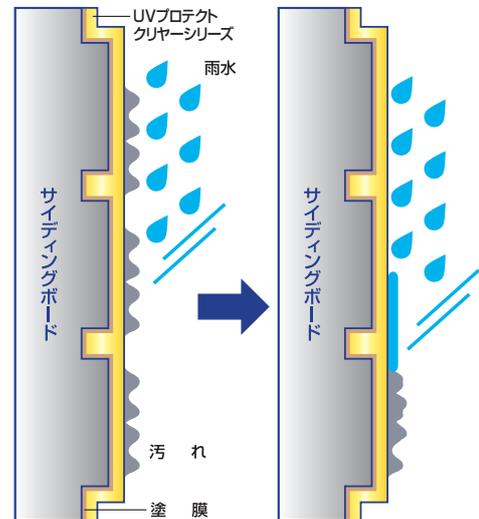
UVプロテクトクリヤーシリーズを施した外壁なら、表面に付着した汚れを、雨が浮かせて流すことができます。さらに、UVプロテクトクリヤーシリーズには防かび・防藻性があり、イヤなかび菌や藻の発生を長期間にわたり抑制することができます。それらの性能により、住宅の外観を長期間清潔に、美しく保つことができます。

【防かび・防藻性】



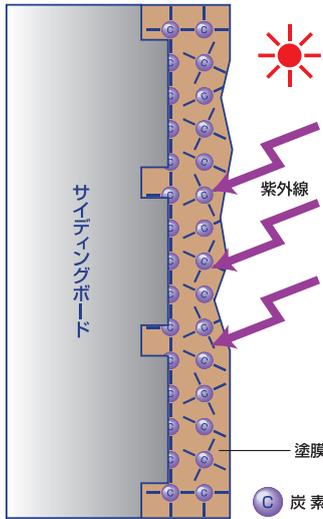
★かび菌をバリア。イヤな藻の発生も防ぎます。

【雨で汚れが浮き上がり、流れます】



★汚れの下に雨水が入り込み、汚れを浮かせ、そのまま流し落とすことができます。

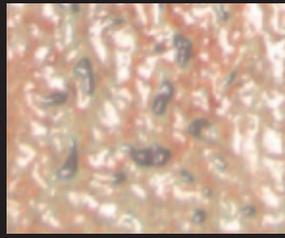
【一般的な塗装の場合】



結合が切れやすい+紫外線が透過

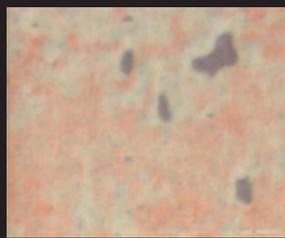
紫外線が塗装面を侵食、ひび割れや雨ジミの原因になります。

UVプロテクトクリアーシリーズ
塗装後のサイディングボード表面



※写真はつや有り2回塗りです。3分つや有りの場合は落ち着いたつやになります。

塗装前の
サイディングボード表面



■紫外線(UltraViolet)とは・・・

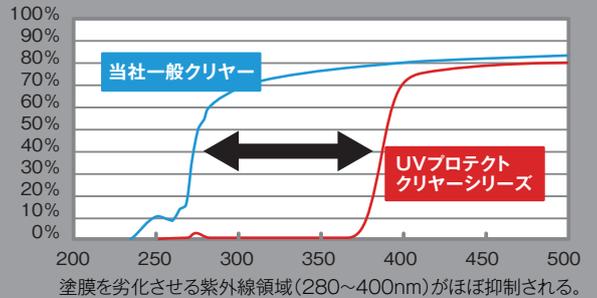
一般に紫外線とは地球上に降り注ぐ太陽光線の一種で、目で見ることの出来ない電磁波のことです。

地球上に到達する太陽光線は波長の長さにより、紫外線、赤外線、可視光線などに分けることができます。なかでも紫外線は波長の短いエネルギーの高い電磁波です。

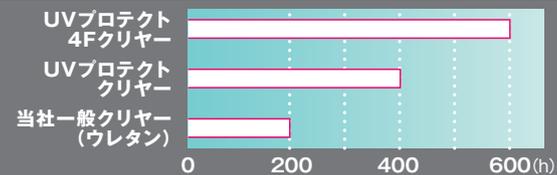
紫外線は波長の長さにより、UVA(紫外線A波)、UVB(紫外線B波)、UVC(紫外線C波)、に分けられます。UVCは大気に阻まれ地上に届くことはありません。ですからUVAとUVBが、日常意識することなく浴びている紫外線ということになります。この280~400nmの紫外線が私達の皮膚に悪影響を及ぼすのと同様に塗膜組織を破壊します。

UVプロテクトクリアーシリーズは、この紫外線領域を遮断することにより下地の劣化を抑制し、長期にわたって外壁を保護します。

▶▶ UVプロテクトクリアーシリーズとの紫外線透過率比較



耐久性(SUV)表面劣化が認められるまでの時間



スーパーUV(SUV):メタルハライドランプ式耐候性試験機を使用した試験
放射照度:1,000w/m² 試験方式:蒸気加湿方式

適用下地 ▶▶ 高意匠サイディングボード

(注)光触媒処理のサイディングボードには対応していません。

- 光触媒処理を施した素材には、塗膜劣化が早まるなど不具合を生じる場合がありますので塗装を避けてください。
- シーリング面は塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので塗装は避けてください。

プロテクトクリアーシリーズの使用をお勧めします。

※サイディングの劣化状況によりお勧め期間が変わります。

超低汚染性 ~雨垂れ暴露促進試験による汚染性能試験~

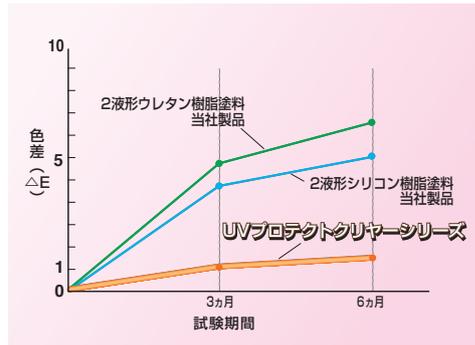
●雨垂れ暴露促進試験による汚染性能試験

屋外にて塗板を暴露し、雨筋状の汚れのつく程度を目視により測定します。試験開始6ヵ月後では、当社の一般のシリコン樹脂塗料やウレタン樹脂塗料と比べて、雨筋状の汚れが少ないことがわかります。

＜超低汚染のメカニズム＞

雨垂れによる汚染などを防止するためには、塗膜表面が水になじむような性質(親水性)であることが重要です。カーボン等の汚染物質には油の性質があり、塗膜表面も水をはくような油の性質(親油性)を持っていると、汚染物質が表面に付着しやすくなります。しかし塗膜表面が親水性であると、油の性質の汚染物質は付着しにくく、降雨時の雨水が汚染物質と一緒に流すことができます。

【超低汚染性比較データ】(実施場所:大阪・寝屋川市)



※ΔEの数値が小さいほど、耐汚染性にすぐれていることを示しています。
※建物の構造によっては低汚染性が発揮されにくい場合があります。

試験開始6ヵ月後



▶▶ 施工実績

東久留米市 T様邸

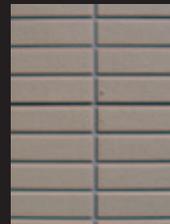


▲塗り替え後(サイディング)



◀塗り替え後(外観)

▼塗り替え前(サイディング)



▼塗り替え前(外観)



標準塗装仕様（塗り替えの場合）

●各種外壁 高意匠サイディングボードなどのクリヤー仕上げ

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整	高意匠サイディングボード面を補修したのち水洗いし、十分に乾燥させてください。エポキシ注入材による汚れは変色する恐れがありますので溶剤などで完全に除去してください。エポキシセメントはスクレーパー、ワイヤーブラシなどで削り落とし除去してください。酸性洗剤などを用いる場合は、その後十分に水洗いし、乾燥してください。その後pH試験紙などを用いて、塗装面が中性であることを確認してから塗装してください。(pH6~8)						
セメント系	下塗り	UVプロテクトクリヤー(つや有り)	1	0.12~0.14	4時間以上	塗料用シンナーA	20~40 エアスプレー 5~10 エアレススプレー 0~10 ウールローラー・はけ※
	上塗り	UVプロテクトクリヤー(つや有り・3分つや有り)	1	0.12~0.14	—	塗料用シンナーA	20~40 エアスプレー 5~10 エアレススプレー 0~10 ウールローラー・はけ※
フッ素系	下塗り	UVプロテクト4Fクリヤー(つや有り)	1	0.12~0.14	4時間以上	塗料用シンナーA	20~40 エアスプレー 5~10 エアレススプレー 0~10 ウールローラー・はけ※
	上塗り	UVプロテクト4Fクリヤー(つや有り・3分つや有り)	1	0.12~0.14	—	塗料用シンナーA	20~40 エアスプレー 5~10 エアレススプレー 0~10 ウールローラー・はけ※

(注) 上記の数値は、すべて標準のもので、被塗装物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

- ・施工上の要項および注意事項をよくご確認ください。
- ・塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)
- ※下塗りはつや有りを、上塗りは同品種もしくは同品種のつや調整品をご使用ください。
- ※ダれた塗料が溜まった場合に、目地はけで広げてください。
- ※UVプロテクトクリヤーとUVプロテクト4Fクリヤーは混合できませんのでご注意ください。

製品体系

製品名	系統	容量	色相	つや	塗り面積/缶当り/1工程	ポットライフ(23℃)
UVプロテクトクリヤー	セラミック系外壁保護クリヤー	15kgセット(■12kg ■3kg)	透明	つや有り 3分つや有り	115m ²	6時間
		3kgセット(■2.4kg ■0.6kg)			23m ²	
UVプロテクト4Fクリヤー	フッ素系外壁保護クリヤー	15kgセット(■12kg ■3kg)	透明	つや有り 3分つや有り	115m ²	6時間
		3kgセット(■2.4kg ■0.6kg)			23m ²	

施工上の注意事項

(詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください)

- ・被塗面の洗浄やエポキシセメントの除去に酸性洗剤・アルカリ性洗剤などの薬剤を用いる場合、薬剤洗浄前に被塗面に十分に水を含ませてください。薬剤洗浄後の水洗工程は、高圧水洗もしくはブラシなどを用いて入念に行ってください。薬剤が壁面に残存したまま本品を塗装しますと塗膜の縮み、白化、はく離を起こすおそれがあります。水洗後、塗装面のpHを確認する場合は、pH試験紙を塗装面に押し当てて測定してください。
- ・光触媒のサイディングボードには適応しておりません。光触媒処理をした素材には、塗膜劣化が早まるなど不具合を生じる場合がありますので塗装を避けてください。
- ・シーリング面は、マスキングテープなどで養生を行い、塗装を避けてください。シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがあります。
- ・吸い込みやすい基材では使用量が多くなります。
- ・経年したサイディングボード面への塗装は、劣化が進行しており、表層内劣化部からはく離するおそれがあります。試験施工をおこなって付着性を確認してください。
- ・つや調整品を使用する際、吸い込みが著しい場合には、乾燥後吸い込みむらによる目地の白化(つや消し剤のたまり)を生じることがありますので、1回目の塗装時に表面に塗膜が残らないような場合はつや有りを押し塗り、もしくは2コートして吸い込みを止めてから上塗りを塗装してください。下塗りに必ずつや有りを使用してください。つや調整品を下塗りに用いますと前述の目地白化が生じやすくなります。
- ・目地部が深く、ローラーなどで入りきらない場合は、目地はけなどで塗装してください。
- ・目地の塗料のみ被塗面にダレを生じた際は、目地はけ、ローラーなどでむら切りし、除去してください。
- ・塗装後は濡れ期になるため、既存色より濃くなりますのでご了承ください。特に劣化が著しい場合は色調の復元にばらつきがあります。不安な場合は試験施工を実施して仕上がりをご確認ください。
- ・仕上がりにならないやすすぎ、ニベカラーマックスFAや各種現調色用着色剤を使用し調整することは避けてください。
- ・クリヤー仕上げは下地の状態をそのまま表出してしまうため、下地の劣化が著しい場合はおすすめてできません。ヘヤクラックなどの発生がなく、かつ築後10年以内であることをおまじの目安とってください。
- ・下塗りにエポキシ樹脂塗料(ニップ浸透性シーラー(新)など)は使用しないでください。変色、はく離の可能性がります。
- ・コーナージュとジョイント部で塗膜がはがれている場合は、ファイアウレタンU100やファイナッシュコンプレッシュで補修した後クリヤーを塗装してください。補修用として波タイプをご利用の場合は、塗装後必ず1日以上乾燥させてください。縮む可能性があります。
- ・釘頭が出ている場合は1液ハイポフィンデクノファイナッシュU100などを施した後クリヤーを掛けてください。さび止め塗装した上にクリヤーをかけることは決してしないでください。
- ・水洗後晴天下で必ず1日以上乾燥させてください。乾燥が不十分である場合、クリヤー仕上げのためボードに残った水分の影響による外観上の不具合が目立ちやすくなるおそれがあります。
- ・つや調整品では、はけ、ローラーでの塗装はむらが出やすくなりますので、スプレー塗装をおすすめいたします。
- ・つや調整品では、塗り継ぎや補修でつやむらが出やすいため、面を切って通して塗装してください。
- ・過剰希釈をするとは本来の性状が発現しないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。
- ・つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、事前に試し塗りを確認してください。
- ・つや調整品は、使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜かはんしながらご使用ください。
- ・被塗物の構造、部位、塗装仕上げ形状、環境条件など影響で、本来の低汚染機能が発現されない場合があります。
- ・塗装面を部分補修する際には、硬化剤の入れ忘れにご注意ください。汚染むら発生の原因になります。
- ・溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者への配慮をお願いします。
- ・所定のシンナー以外を使用した時、薄めすぎるとつややダレ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。
- ・硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
- ・塗料を扱う場合は、皮膚に付着しないようご注意ください。また、蒸気やミストなども吸い込まないように十分にご注意ください。
- ・塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合(高温湿、結露、降雨など)、塗膜表面が白化するおそれがあります。水分の影響を受けるおそれがある場合は、塗装を避けてください。
- ・旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着菌害をおこなうおそれがあります。
- ・素地の乾燥は十分に行ってください。
- ・塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- ・塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかつたり、仕上がり作業性が低下することがあります。
- ・屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- ・塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- ・塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分にこに行い、火気厳禁にしてください。
- ・飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- ・薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- ・色調には必ず当社専用の原色をお使いください。
- ・大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- ・汚れ、きずなどににより補修塗りが必要場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- ・ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- ・可塑剤が多く含まれる塩ビシート、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようご注意ください。
- ・塗料は内容物が均一になるようによくかはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかはんしてご使用ください。
- ・開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- ・塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒ししないでください。
- ・製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

安全衛生上の注意事項

(UVプロテクトクリヤー 塗料液 つや有り)

- ・本来の用途以外に使用しないでください。
- ・使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
- ・熱・火花・炎・高温のもののような着火源から遠ざけてください。一禁煙です。
- ・容器を密閉してください。
- ・容器および受器を接地してください。
- ・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器を使用してください。
- ・火花を発生しない工具を使用してください。
- ・粉じん/ガス/蒸気/スプレー等を吸入しないでください。
- ・屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。
- ・必要な時以外は、環境への放出を避けてください。
- ・吸い込み後は、手洗いおよびうがいを行って行ってください。
- ・適切な保護手袋/防護マスクまたは防護マスク/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用してください。
- ・必要に応じて個人用保護具を使用してください。
- ・吸入した場合・空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
- ・飲み込んだ場合・気分が悪い時は、医師に連絡してください。口をすすいでください。
- ・眼に入った場合・水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。
- ・眼の刺激が続く場合は、医師の診断・手当てを受けてください。
- ・皮膚や髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ取り除いてください。皮膚を流水でシャワーで洗ってください。
- ・皮膚に付いた場合、多量の水と石鹸で洗ってください。
- ・取り扱った後、手を洗ってください。
- ・皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けてください。
- ・直ちに、すべての汚染された衣類を脱いでください。取り除いてください。再使用する場合には洗濯してください。
- ・粉塵、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時には、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
- ・寝息した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
- ・緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別措置を実施する。
- ・火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
- ・水を消火に使用しない。適切な消火剤として、粉末、乾燥砂がある。
- ・容器からこぼれた時には、布で拭き取った水を漏らした容器に保管してください。
- ・施設として子供の手の届かないところに保管してください。
- ・直射日光や水濡れは厳禁です。
- ・塗料等年の積み重ねは3段までとしてください。
- ・日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上(スプレー缶の場合は40℃以上)の温度に暴露しないでください。
- ・内容物・容器を廃棄する時には、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- ・塗料、塗料容器、塗料を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗料具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すとは環境に影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

- * 上記の表示は、一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。
- 詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。
- 本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

危険



危険有害性情報

引火性液体および蒸気/皮膚刺激/強い眼刺激/生殖能力または胎児への悪影響のおそれ/呼吸刺激を起こすおそれ、または、眠気やめまいのおそれ/長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害のおそれ、水生生物に非常に強い毒性(急性)/長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

ペイントかわら版
読者募集! 登録無料
いますぐご登録。

※QRコードが読み取れない場合はこちらにアクセスしてください。
<http://paintkwaraban.jp/form/>



日本ペイント株式会社

お客さまセンター

☎ 03-3740-1120

☎ 06-6455-9113

<http://www.nipponpaint.co.jp/>

- 当社は2014年9月現在、ISO14001を全事業所で認証取得しております。
- このカタログは再生紙を使用しています。

- 本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名「ヒューライド」・会社名は、日本ペイント株式会社、全事業所で登録取得しております。
- ©Copyright 2014 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.

カタログNo.
NP-S08

AA140905T
2014年9月現在